

議 事 録

(平成 29 年度 第 1 回総合教育会議)

日時：平成 29 年 4 月 27 日 (木)

15:00～16:27

会場：市長室

出席者 笠岡市 市長 小林嘉文
笠岡市教育委員会 教育長 浅野文生
教育委員 谷 喜一郎 三谷信恵 石井啓弐 藤谷幸弘
事務局 井上教育部長ほか

事務局 それではただ今より、平成 29 年度第 1 回笠岡市総合教育会議を開会いたします。

開会に当たりまして、小林市長から御挨拶をいただきます。

小林市長 (市長挨拶)

事務局 ありがとうございます。続きまして、浅野教育長より御挨拶をお願いいたします。

浅野教育長 (教育長挨拶)

事務局 ありがとうございます。

それでは、議事に入らせていただきます。

お手元の議題にあります。本日の議事は(1)「小中一貫教育について」、(2)学力向上についての2件及びその他でございます。初めに小中一貫教育の推進についてでございますが、前回の協議結果をご確認いただいてその上で本日の協議に入らせていただきます。

(朗読により前回の会議録を確認)

事務局 小中一貫校の開校までの今後のスケジュールを説明した後、皆様に御協議いただきたいと思っております。

小林市長 その時にあわせて私立の保育所(経営者)と2回会議を行っているのです、その時のリアクションも一緒に説明して。

(小中一貫校の開校までのスケジュールを説明)

事務局 それでは先ほど市長に言われました民間保育園との2回の懇談を重ねてておりますが、先日第2回目の時点で保育園長会としてこの構想は考え直していただきたい。1点目は幼・小・中のスムーズな連携

を進めることは非常に良いことである。しかし、そこには保育所に通っている子どもに対する視点が置き去りにになっていないか。もう1点は正直なところ、幼稚園に通う子どもが多くなって保育園に通う子が少なくなると我々保育園の経営が圧迫されるのではないかという懸念。その2点を申出いただいております。

小林市長 それに対して我々市側はどう返事したのか。

事務局 現在でも80%以上が保育所に通っておられます。これは保育園長会もおっしゃられています。今後も幼稚園教育を求める保護者と保育を求める保護者のニーズは明らかに異なっており、今の社会情勢を考えますと5時～6時までの保育を求める保護者が幼稚園を選択することは考え難いと、こちらの立場を申し上げましたが、「いや、そうとは限らない」とおっしゃっております。市長からは保育園長会が了承していただかない限りは強行にやることはないので今後説明を重ねさせていただきますとお伝えしております。

小林市長 幼稚園と小学校が同じ園舎・校舎に居て、校庭で遊んだりして顔見知りになる。小学校1年生に年長が上がって来ても2年生・3年生のお兄さんお姉さんをよく知っているような関係で上がって来る。保育園の年長組は知らない状況で上がって来る。そうすると幼稚園の子とは知っている状況と保育園の子は知らない状況で温度差が生じて上手く接続できないことを心配している。

それから世間一般的に教育を受ける幼稚園と保育をする保育所。敬業館の附属の幼稚園で教育を受けていると言われることにより、周囲から保護者に（幼稚園に行かさなくて）大丈夫かと言われる。その結果、附属幼稚園の方に人が流れることを非常に心配されている。

事務局 皆様からご意見は。

小林市長 特に「まや保育園」「笠岡保育所」と山名園長（和光保育園）が特に強い反対をされている。

浅野教育長 私の方からは新しい学習指導要領案が示され、学校段階間の接続を行うよう示されている。幼と小、小と中の接続を円滑に行いなさいと文科省が示しているので、我々としては幼児教育に力を入れてやっていきたいんですよ、接続を上手くやっていきたいんですよ、と説明をしております。そこへ先ほど市長が話されたとおり保育所が置き去りにされているとの質問がでております。

小林市長 笠岡市の歴史をみると他の自治体は若干違うのですが私立の保育園に対し割と配慮してきている。延長保育をしているわけではないし、一時預かりは

一部でやっていますが、朝の引き受ける時間帯にしてもそうですが私立に配慮する形をとっている。市の中心部は基本的に私立にお任せして、周辺の北川とか神島など人が比較的少ないところに関してはしっかりと公立で守っているという図式になっている。分布図から言えば。そういう配慮をしてきた説明したんですけれども。実際に20人とか30人しかいない幼稚園とか保育所を我々が維持しているわけです。それが分かった上で、現状に対してそれが更に失うものに対する恐怖心というか心配とかが強くありますね。

浅野教育長 どう思われますか。私学が（民間保育園）、公立の幼稚園を小学校に入れ込むことによって私立保育園の保護者がそっちの方を強くを選択するのかどうかそのあたりのご意見は？

谷委員 私の思うところでは、フルタイムで女性が働こうとすると保育園がないとまずできません。幼稚園であれば市の方が例えば延長保育をすることを発すれば、当然反対も出てくるとは思います。市の方としたら（週の）2日間は昼まで、あとは3時頃までで延長保育はしない。ただ突発的な何か、家族の方が用事が出来て事前に分かっていたら、何月何日をお願いしますよと言うのは他の市町村でもやっていますので、笠岡では今回取り入れています。ですから、敬業館の中に幼稚園ができて今までの仕事・生活を維持しようとするならば、そう簡単には変わらないと私は思います。

石井委員 いずれにして無垢品さんが心配されてはいるんですが、私はそう減らないと思います。谷委員さんも言われたように、市立（敬業館のこと）になって特別に延長保育を遅くまでするというのがないので減らないのではないかと。言ったんですが、かなり分かって（ない）、私も（幼小中一貫教育のこと）完全には分からない理由もあるんですが、もう少し説明をされる必要があると思います。学校の校長・園長先生方にもこういう問題が出てくる、PTAの方からも「校長先生これはどういうことですか？」と聞かれたときに校長先生がカチッと説明が出来るように具体的に大まかなビジョンを説明されていく必要があるんじゃないかと思います。

浅野教育長 母親の立場でいかがですか？

三谷委員 谷さんのおっしゃるように保育園と幼稚園の目的が全く違うのでそれによって人数が減るということはないと思うんですが、私立の園長さんからしてみれば、それは心配なことではあることなので、こちらとしては優しく受け止めてあげて時間を掛けてでも話し合いをして、喧嘩するのではなくお互いが相手が納得するまで話を優しくしてあげれば解決するのではないかと思います。

藤谷委員　私が思いますのに、小中一貫教育の内容・具体的な構想を説明をさせていただいて、幼稚園は幼稚園、保育所は保育所それぞれ目的が違うんですということで、今までと幼稚園の場所が小学校の中に移動するんですがやる内容・目的は変わりませんということ整理して時間は掛かるかもしれませんが、民間保育園の方にも説明して理解をいただく。この問題は民間保育園の方だけではなくて学校の先生やP T Aだけでなく広い意味では笠岡市全体の皆さんに説明していかなければいけないということもありますので今、事務局の方から説明があった29年度でそういったものを準備してゆく。色々な資料とか検討を整理した上で説明できるものをこれから準備してゆきますということですので、そういう動きで良いと思います。

小林市長　そこでスケジュールの話を高橋さんが話をしてくれましたが、第7次総合計画が来年4月から始まりまして、それまでに第7次総合計画の素案をまとめて議会で3月までに決議をいただかないとそれを実行できない。お尻が決まっているということをもとに認識していただきたい。まず1点目ですね。つまり来年4月からスタートするんですよこの小中一貫校は。幼小中一貫校にしる敬業学園というのは平成30年度の4月からスタートというのは準備も含め方針も今年度中に決める。つまり私立の保育園の園長先生方も含めて皆さんに納得していただいてスキームを決めた段階で来年の4月から準備に入りますよ。このスケジュールはやっていかないと、もしそこに、第7次総合計画に投げ入れできないと今後8年間は実行できないことになります。もう1点目は幼小中を敬業学園でやろうとしているんですが、幼小中全部やるわけではありませんよ。神島では認定こども園という施設を、神島保育所を汗方という場所に新しく作るわけですけども、移転するんですけどもその時に認定こども園でやっていこうということで、認定こども園はご存知のとおり幼稚園と保育園が一緒の建物の中にあるということになります。このエリアにおいて暫くして認定こども園から幼稚園の部分だけを引っ張り抜くということもできないので、神島に関しては認定こども園とプラス小中一貫校という形になっていくわけです。他のエリアでは東中学校のように大規模なところもあれば小さいところもあるし、あるいは幼稚園と小学校がかなり離れているところもあるわけで、地元の意見を聞きながら良い形の小中一貫校にしていくか詰めていかなければならない。だからまとめて言えばバラバラでいいんですかという話です。敬業学園に関しては幼小中ですよ、神島は認定こども園ですよ、といったようなことが私はそれはそれであっても良いと思うんですが、そういったことを笠岡市民の方にも御了解いただい

てそれぞれで良い形を作って、広い意味での小中一貫校、広い意味での義務教育学校という形にしていく。どっかで共通点・統一性はあるんですが具体的にいうと地域によっては違ってくるということになる、それで良いですかということになると思うんです。

浅野教育長 幼小中一貫型とそれから小中一貫型が笠岡市内に（あることになる）。幼小中一貫型の代表が敬業学園ということになると思います。

小林市長 校舎が一つになればそれはそれで理想であるが、分離型もあるかもしれない。今、小学校が18（校）中学校が小北中学校を含めて10（校）あるわけですけれども、縮小していくというか統廃合しながら中身をそういう形に変えていくのがひとつの理想だと思います。それが小学校で固まるのか中学校で固まるのかいろいろなケースがあると思います。ちなみに敬業学園で無くなるものは何かというと幼稚園舎が3つ無くなることになる。小学校5年生から中3までは（笠岡）西中に通う事になる。ですので、まや保育園の事を言いましたが、大井の若竹保育園も大いに関係があり、高橋（園長）さんも基本的には難色を示している。

今度、来月5月だったかとおもいますが、第7次総合計画の審議会があるんですが、市民を含めた市会議員の先生も含めた審議会メンバーがいるんですが、何名だったか私はメンバーではないので分からないんですが（20名までいたかどうか？）そのメンバーで審議していただき最終的に第7次総合計画の骨子を定めるんですけれども、その来月の時のタイミングで敬業学園、幼小中一貫校の話を出そうと提案しようと、そこで審議していただくということに今のところ予定しております。

谷委員 敬業学園の場合は9年制で、小中一体型になると考えられるが、東中の場合を考えると無理だと思うんですが、そのところは教育長、色んな形で運営していくようになるんでしょうか。

浅野教育長 5・6（年生）と中1を英語で繋ぐ一部教科担任制が考えられます。東中には英語の先生が最低3人いらっしゃるので各学年へ配属されている。その持ち時間を1時間でも小学校に割いてもらうという形になります。そうすると中学校の英語の先生が出た後に英語の授業が出来るような講師を後補充でいれないと厳しいだろうと思います。そこが市として手当ができるか。

小林市長 一番私が心配するのが小中一貫校になると先生の数が減るんですね。

浅野教育長 そうですね基本的には管理職が減ります。

小林市長 備前市で全ての学校を小中一貫校にすると発表しているんですね。この間開校するので言って来たんですが、一番の問題は先生の数が減る。一緒にな

って全体の中の先生の数が減らされるらしいです。共有できるでしょうということ。

浅野教育長 小学校の免許，中学校の免許両方の免許を持った方が増えればそういう形になってくるでしょうね。

小林市長 私自身が疑問に思ったのが英語の教育なんです，5年生6年生の授業はALTの先生が中心となって子どもたちはクラスに行くとき非常に楽しそうに，つまりドアを開けて「ハロー・エブリバディ」から帰る時まで基本的にALTの先生が中心で英語で授業をしている。ところが，中学校になると日本人の先生が日本語で英語の授業をして文法やリーディングをやるわけです。ALTの先生はぼけっと立っている。で，ALTの先生を辞書代わりに使ってこの単語の発音は？「カルチャー」という風です。これでは中学生は英語が嫌いになる。何をやっているんだという気になります。その辺を変えて行きたいと思っています。

浅野教育長 昨年，鳴門市の林崎小学校を視察しましたが，ALTの先生と小学校の英語の先生と中学校の英語の先生も居て，掛け合いをして非常に楽しい授業をされていて，そういう英語を進めて行きたい思いました。

事務局 それでは2項目でございます。学力向上について事務局からご説明いたします。

学力向上につきましては，まずは授業の質を高めること。これは継続的に取り組んできていますが，今後も変わりはありません。笠岡市の特色の1つとしては，ICT機器を活用して授業改善を図っていくことを引き続き行っていきます。その授業内容の確認や指導も学校教育課を中心に進めていきたいと思えます。

学力学習状況調査の実態把握・分析などを基に様々な取り組みを進めている中で，今年度の拡充・新規部分を表にまとめています。1つめは，放課後サポート学習事業です。これまでも行っていましたが，小学校18校が毎週1回放課後に行っています。中学校は，部活動等の事情があり取り組みが十分ではありませんでしたが，近年はそれぞれの学校で取り組みを始めています。毎週やっている中学校は4校あり，昨年度までは定期考査の時などを中心にやっていた6校についても，今年度は予算化が可能となり，毎週1回行う方向で調整しているところです。2番目の笠岡ホリデイチャレンジ事業も継続のものですが，小学校学区で公民館で月に1回土曜日に補充学習を年間12回しています。3つ目の笠岡夏チャレンジ事業ですが，これは拡充部分で，昨年度から始めており，昨年度夏休みに一部の小学校区で5日間程度の

補充学習を公民館等を借りて行いましたが、今年度はすべての小学校区で10日間行います。4つ目の笠岡サマーチャレンジ学習支援事業は継続事業で、中学生を夏休み中に5日間市内3つの会場に集めて、数学や英語の補充学習を行います。他と違うのは、大学生を講師として招く点です。5点目は新規事業で、中学校の検定チャレンジです。英検・漢検・数検の受験希望者の中学生に対して、年間それぞれ1回無料で市が補助を出して受験をさせる計画です。最後の図書館サービス拡充事業は新規事業で、2階多目的室での学習が可能となりましたので、PRしながら補充学習をするよう促していくというものです。

小林市長 I C T機器の活用については、どういう普及率なのか。

事務局 平成23年度から年次的に取り組んでいますが、すべての教室に実物投影機・プロジェクター・テレビがあり、先生が分かりやすい授業をするために必要な教材等を拡大提示して授業を展開することがすべての教室でできます。

小林市長 今後の展開は。

事務局 平成26年度から指導者用タブレットを教室に1台配備していますが、I C T機器を使った授業の進め方をさらに定着させるよう指導を継続していきます。また、予算化の目処はたっていませんが、児童生徒1人に1台のタブレットP Cを整備する方向で考えています。今は指導者用のデジタル教科書しかありませんが、今後は学習者用のデジタル教科書が出てくるので、それを使った学習ができる環境を整えていきたいと考えています。また、基礎基本の定着を図るためにフラッシュ型教材を平成25年度に導入し、小学校では盛んに活用されており、基礎基本の定着に寄与しています。

小林市長 島ではパソコンの速度が遅く、うまく見ることができないケースが多い。

事務局 今年度予算で無線L A N環境の調査を行い整備をする予定ですが、学校の中だけの問題ではなく笠岡放送の回線の問題もあり、今後の課題です。

小林市長 陸地部に比べてかわいそうだ。一部の生徒にはタブレットが配布されているのか。

事務局 昨年度から神島外小・中と島しょ部小・中に整備しています。

小林市長 できるだけ予算化していき、タブレットを生徒1人1人に配布してしっかり活用してもらうことについて、みなさんのご意見はどうか。

石井委員 持ち帰りは可能か。

事務局 現状では、持ち帰りは禁止しています。

小林市長 自治体によっては、持ち帰りができるところもある。

谷委員 アメリカの学校では、重たい教科書を持って行くのではなく、タブレットにすべて入っていると聞いたことがあるが、どうでしょうか。

小林市長 学校によって違いはあるが、10年前でもタブレットを導入している学校があり、ソフト会社が無償で提供しているケースもあった。活用範囲がかなり広がるし、使い方の制限もできるので、タブレットは非常に役に立つと思う。

谷委員 以前、姫路へ視察に行った際に、子どもたちがタブレットを使って回答している授業を見ました。無線LANが整備されていました。

事務局 無線LANは平成26年度に整備しています。

小林市長 授業の進め方としては、先生がICT機器を使い、子どもたちが個々のタブレットではなく先生の方を向いている方がいいと思うが、家での学習は、タブレットを使う方が非常にやりやすいと思う。展開が早くイメージとして残りやすく、復習しやすい。

浅野教育長 プログラミング教育はタブレットでできるのか。

事務局 プログラミング教育は、プログラミングをすることが目的ではなく、プログラミング的思考を鍛えることが目的で、プログラミング的思考が社会のどのような場面に活用されているかを理解するための素地を整えていくことです。タブレットを使うことが限定されてはいませんが活用することも可能です。

浅野教育長 タブレットの導入は進めてよいらしいでしょうか。

谷委員 進めるべきだと思うが、何か起きた時に授業が止まってしまうので、対応できる専門の人がいるといいと思います。

小林市長 一度に全部普及させるよりも段階的にやっていく方がよい。

事務局 一覧表の内容について質問はございませんか。

小林市長 新規事業の検定についてはいかかでしょうか。

石井委員 非常によいことだと思うが、受験希望者だけでしょうか。

事務局 希望者だけです。

小林市長 全員希望してくれれば一番いい。補習授業にしても、やっただけではだめで、先生が意識を持ってできるだけ子どもたちに声かけをすることが重要で、そうすれば学習意欲が生まれてくると思う。

藤谷委員 検定を受けてみようと思う最初のきっかけになると思います。検定料を無料にすることで、今まであまり興味がなかった子どもにも受けてもらえる。例えば、漢字検定で1つでも合格すれば、次はもう1つ上を目指そうという気持ちに繋がると思います。1つの成功体験を経験することも大切だと思います。

ます。

小林市長 図書館の件について、概略を説明してほしい。

事務局 (事務局から概略を説明)

小林市長 図書館は子ども図書館を作って大きくなった。部屋が小さく分かれていて、書庫が4つほどあり、日の目を見ることがない本が大量にあったので、書庫を整理してスペースを空けたらどうかと言っている。子どもたちに来てもらい、集中して勉強したり、教え合ったりして、子どもの集まる場所が図書館であればいいなという思いで、できるだけハードルを下げてもらった。年間900万円くらい書籍購入費があるので、できるだけ人気のある本を揃えて、多くの人に本を借りてもらいたい。ご存じのように、高梁市や瀬戸内市の図書館は大きく変わり、たくさんの人が利用しており、市外からも大勢の人が集まっている。笠岡市は古い図書館をそのまま使っているの、なかなかそうはいかないが、ハードルは下げていきたい。

石井委員 外にオープンテラスを作るよりは、中に飲食ができるスペースがある方がいいと思います。

事務局 今は、多目的室でお昼にご飯を食べてもよいことにしています。

藤谷委員 色々な目的で利用できることで人が集まると思います。図書館が色々な用途で使えるようになったのはありがたいことです。本離れと言われていますが、活字を見て本を読む機会が増えることはとてもいいことだと思います。

事務局 続きまして、井戸平左衛門賞の創設について、説明いたします。

(要綱を説明)

当初各学校で1名を想定していましたが、先日、賞創設のご報告に伺った際に長田住職様から非常に素晴らしいことなので協力しますということで、男女各1名にという申し出をいただきましたので、そのようにしたいと思います。

藤谷委員 非常にいいことだと思います。普段の学校生活の中で勉強だけではなく、人への思いやりやボランティア活動を頑張っている子どもたちもたくさんいるので、このような賞があるととても励みにもなると思います。

小林市長 校長推薦か。

事務局 そうです。

石井委員 どんどんやってほしいと思う。

三谷委員 中学2年生だけではなくて、もう少し幅を持たせてもいいと思いました。

浅野教育長 慣れた頃の中学2年生にこういう明確な目標になるものがあればよいと思います。時期は2年生の3学期です。

小林市長 何をプレゼントしたらよいか、いいアイデアがあれば教えてほしい。

谷委員 図書券はどうでしょうか。

事務局 2の学力向上につきましては、終了させていただき、その他について何かございますでしょうか。

小林市長 随分前の話ですが、私自身がこいう判断をしてよかったのかと今でも思っていますが、マラソンの誤誘導の件です。正確には誤誘導した訳ではなく、先頭の子どもが一方的に間違っ走ってしまったのです。まさかそこを走ると思わず、スタッフが立っていませんでした。今までは中学生に続いて小学生が走っていたので、間違えることがなかったが、今回中学生の参加者が少なく間が空いたため、小学生の先頭集団が自分で間違えて走ってしまい、その後も続き、最後尾の小学生だけが3 kmを走ってしまった。一部の人だけで判断し、参考記録として順位を発表してしまったが、新聞に載り、議員の方からも批判を受けてしまった。客観的に見てどうだったか。

藤谷委員 今回とられた対応でよかったと思います。選手が間違っ走ってしまったことは、反省点として今後の対策は必要だと思います。

石井委員 最後の子が3 km走ったことは当日に分かっていたので、その時に的確な対応ができていれば騒ぎにならなかったのではないのでしょうか。

小林市長 子どもたちをお願いをしてもう一度走ってもらうこともできたかもしれない。

三谷委員 正直な対応だったと思います。その場で一言放送を入れておけばよかったと思います。テレビで騒ぎになったのは、残りの人が参考記録ではなく失格扱いになったと報道されたため面白おかしく言われていました。判断はよかったと思います。

事務局 他には何かございませんか。

委員等 (はい)

事務局 それでは、これをもちまして平成 29 年度第 1 回笠岡市総合教育会議を閉会いたします。お疲れ様でした。